

「みんなで調べる中海流入河川調査」報告書

学 校 名 (団体名)	安来市立赤江小学校
連 絡 先	TEL:0854-28-8009 FAX:0854-28-8062 E-Mail:akae.esc@city.yasugi.shimane.jp
調査参加者	参加者：4年生56名 指導者名：若槻 千夏, 新田 純子

その他調査したこと、考えたこと、水質を改善するために行ったこと、感想など
(自由に記載ください。紙面が足りない場合は別の紙にまとめて添付してください)

単元名：『飯梨川の良さを伝えよう』（総合的な学習の時間）

今年度は新型コロナ禍にあり、例年のような活動はできなかったが、下記の活動を行った。

【オリエンテーション】5/28（木）

休校が明け、『飯梨川の良さを伝えよう』の学習をようやくスタートすることができた。この日はオリエンテーションということで、今までの赤江小の先輩が作った新聞を見たり、自分たちが飯梨川について知っていること・これから調べていきたいことなどを出し合う時間となった。飯梨川はきれいなのか、どんな生き物がいるのか、飯梨川の水は何に使われているのか、昔と今ではどう変わったのかなどたくさんの疑問がでた。



【現地調査1回目】6/4（木）PM

初めて飯梨川親水公園へ行ってみた。透視度計やCODパックテストの使い方を学び、全員で調査を行った。透視度が100cm以上で、澄んでいる水に子どもたちは驚いたようだった。この日は生き物採集はせずに、飯梨川の様子をよく観察し、今後の学習への見通しを持つ時間となった。

【現地調査2回目】6/18（木）PM

しまね環境アドバイザー桑原弘道先生に来ていただいた。天候不良のため、現地での調査ではなく、学校での講義スタイルに急遽変更することになった。事前に採水していただき、生き物を捕ってきていただいた。子どもたちは全員がパックテストを使って水質調査をした。実物投影機を使って生き物を大型テレビにうつしながら、生き物の名前や特徴を教えていただいた。



これらの学習を受け、子どもたちが探求したいことからグループ分けを行った。今年度は「生き物」、「水質」、「岩と砂・歴史」、「環境」、「中海」、「地域との関わり」の6つのグループに分かれて学習を進めていくことにした。

【現地調査3回目】7/9(木)PM

桑原弘道先生、環境保健公社から講師の方に来ていただいて、調査を行った。前日までの雨で川が増水していたため、範囲を制限して調査を行った。流れも速く、天候によって川の様子が大きく変わるということに子どもたちは気づいたようだった。環境グループの子どもは、ごみが落ちていることに気づき、次回の調査ではごみ袋や火ばさみを持っていこうと話していた。この日見つかった指標生物は「コオニヤンマ」だけだった。水生生物はたくさん見つかり、講師の先生に、「この魚は何という名前ですか？」などと質問していた。



【今津浄水場の見学】9/10(木)



前日に浄水場職員の方に出前講座をしていただき、この日は今津浄水場に出かけた。伏流水が取水されており、とてもきれいな水のため、葉はほとんど使わず緩速ろ過で水をきれいにしていること、松江まで水を送っていることなどを教えていただいた。また、生活用水だけでなく、農業用水や工業用水としても飯梨川の水は使われているということや、ダム役割についても教えていただいた。飯梨川の水はとてもきれいで、自分たちの生活を支えてくれていることに改めて気づいた子どもたちだった。

【調査4回目】9/28(月)AM

この日も桑原弘道先生、環境保健公社から講師の方に来ていただいて、調査を行った。透視度計やCODパックテスト、指標生物による水質調査だけでなく、グループによっては流速を調べたりごみを拾ったりした。磁石で砂鉄を集めるグループもあった。この日見つかった指標生物は、ミズカマキリだけだった。3回目同様、水生生物は多数見つけた。



【学習発表会】11/8(日)

見に来られる地域の方や保護者の方にどんなことを伝えたいかをグループごとに話し合っ、子どもたちと担任が一緒になって発表内容を考えた。飯梨川の川幅や水源、水質調査の結果、見つけた石について発表した。さらに、実際に拾ったごみの写真を示して、ほとんどが人が出したごみであったこと、自分たちはきれいな飯梨川をこれからも守っていききたいということを伝えた。



【飯梨川再生ネットの方のお話】11/26(木)

飯梨川は、かんな流しにより天井川になったこと、上流より下流の方がきれいな全国的にも珍しい川であること、度々あった決壊・氾濫がこの95年間は起きていないこと、地域の方が協力して河川敷の草刈りや芝生植えをしていること等を教えていただいた。飯梨川の素晴らしさを改めて知る時間となった。

【地域の方のお話】12/8(火)



安来市人権施策推進課より足立智美先生(元赤江小学校長)に来ていただいた。昔の赤江の人のくらしや飯梨川の氾濫の歴史などについて話していただいた。赤江の人たちが飯梨川とともに助け合い、工夫し、たくましく生きてきたことを知った。ふるさと赤江を誇りに思うとともに、更に詳しく飯梨川について調べていきたいという感想もあった。

様式1 (続き)

みんなで調べる中海流入河川調査 調査結果表

学校名： 安来市立赤江小学校

川の名前	飯梨川
調査地点名	飯梨川親水公園

	1回目	2回目	3回目	4回目
調査日時	6月4日	6月18日	7月9日	9月28日
天候(当日)	晴れ/くもり	雨	晴れ	くもり
天候(前日)	くもり	晴れ	雨	雨
気温(℃)	32℃	22.2℃	31℃	23℃
水温(℃)	28℃	21℃	25℃	20℃
COD(mg/l)	4	6	2	2
透視度(cm)	100cm以上	100cm以上	100cm以上	100cm以上
その他項目		雨のため講師の先生に生き物・水をとってきてもらい、学校で調査		